CVV　活動報告（2018年度）

～自治体支援等～

2019年5月25日（CVV総会・WS）

黒山　泰弘

於　大阪大学

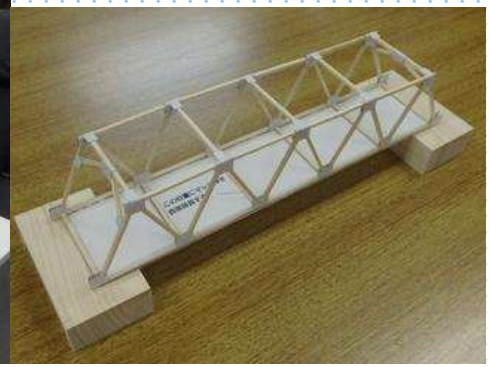
報告内容

- 神戸市「土木の学校」への協力
- 西宮市若手職員との交流
- Osaka Metro　ぶらりウオークでの協力
- 土木学会関西支部「ぶら・土木」への協力
- 学生との淀川橋めぐり
- インフラメンテナンス国民会議への加入
- 地盤工学会関西支部「地盤工学サロン」に参加
- 長野県「土木・環境しなの技術センター」との交流

神戸市「土木の学校」への協力

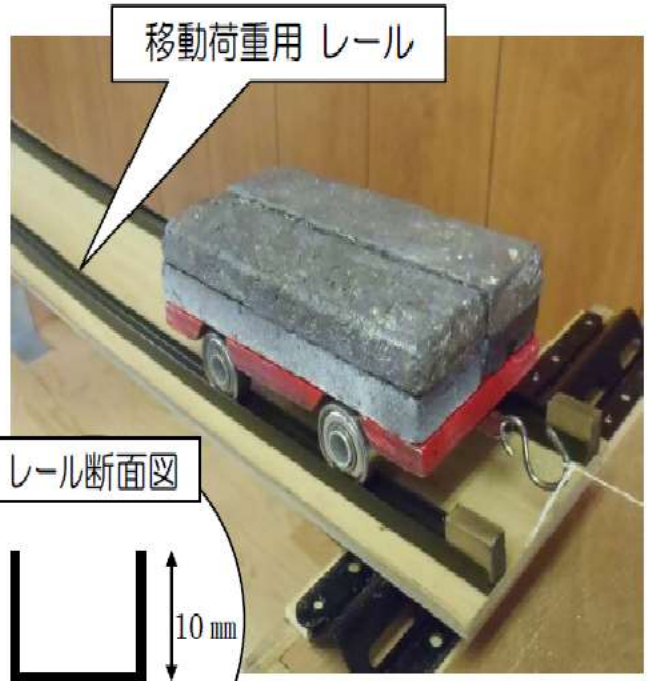
神戸市では小中学校生向け、ならびに土木を学ぶ大学生・高校生向けの行事を展開している。CVVではその活動を永く支援している。

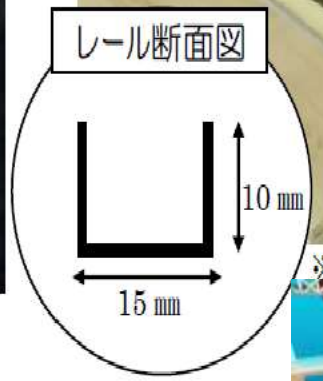
- 橋梁模型コンテストの審査協力
- 年数回開催される小学生対象の「土木の教室(石膏やマッチ棒での橋づくりなど)」や各種イベントの協力



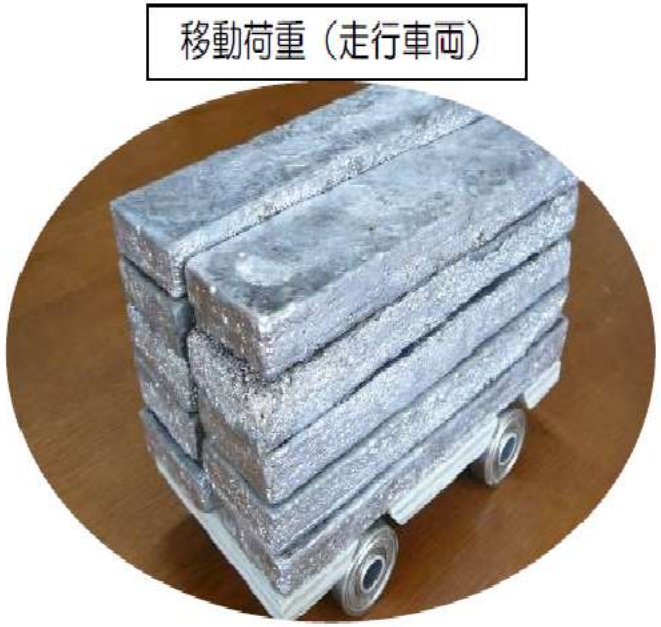
神戸市HPより

【概略図②】





※レールは、脱輪防止の補助具です。



※考案と製作：田中輝彦(「土木の学校」副会長)

神戸市HPより

西宮市との交流

- 市の若手職員への技術研修を目的として過去5回開催している
- CVVメンバーの経験談をもとに市職員とのディスカッション

- 現役時代の仕事の概要（特に採用後40歳くらいまで）
- 思い出深いプロジェクトやエピソード、失敗談（特に採用後40歳くらいまで）
- それが思い出になったのはなぜか（当時の要求内容や制約条件、ならびに判断・行動に至った動機など、物事の背景を中心に）
- 今思えば若かった頃何がやりたかったか。やりたかったことを達成したか。やり残したと感じること。
- 自身が成長したと感じたエピソード
- 仕事で今まで一番うれしかったこと
- 退職後、携われている社会活動（あれば）
- これまでを振り返り、若いころに身に付けておいた方が良かった（もしくは身に付けておいてよかった）と思う経験、スキルは？
- 次の世代へ世代交代、技術継承をするに当たって、何か心がけていること
- 退職間際に感じた部下職員への感想（世代論として）
- 土木技術者として若い方に伝えたいこと

注：決して自慢話にならないこと

Osaka Metro 「ぶらりウオーク」での協力

- Osaka Metro主催のウオーキングイベントの道中にある土木施設を紹介している
- 昨年は床版取り換え工事中の淀川大橋で解説
  (橋梁・工事概要、防潮施設の紹介など)

2019年度「大阪・まち・再発見　ぶらりウォーク」を実施いたします!

Osaka Metroでは、2019年度「大阪・まち・再発見　ぶらりウォーク」を開催いたします。
駅から駅を地下鉄ではなく、地上をぶらりと歩くこの企画、2019度は、2019年４月～2020年3月までの間に土日10回(他電鉄との共同開催７回を含む）平日5回の計15回を下記の要領で実施いたします。
これまで、他電鉄との共催ウォークを阪急電鉄とのみ行ってまいりましたが、2019年度は、阪神電車、京阪電鉄、南海電鉄、北大阪急行電鉄とも実施し、大阪市内だけでなく少し遠出のウォーキングを行います。また、平日コースを新たに実施、「ちょっと短め、おさんぽ気分」と題し、大きな公園を中心とした短めのコースを5回実施していきます。
史跡めぐりを楽しむのもよし！健康のためのウォーキングにも最適です。楽しんでいただきながら地域を広く知っていただくこの企画に、みなさまお気軽にご参加ください。
（主催：大阪市高速電気軌道株式会社）

本年度は湾岸部の
長大橋を紹介予定

大阪メトロ
ぶらりウォークHPより

土木学会関西支部「ぶら・土木」への協力

- 土木学会関西支部の概ね40歳以下の技術者が中心となって取り組む市民向けイベントに協力
- 2017年、2018年度の2回、中之島の橋めぐりのガイド役をCVVメンバーが担当

学生との「淀川橋めぐり」

- 大学生、高専生を対象に、CVVメンバーがガイド役を務める淀川の橋めぐりを実施
- 今年で3回目で昨年までは大学単位(市大、関大)で実施していたが今年度はオープンで実施したところ4校22名の応募があった。
- 大阪の橋の歴史や見学する橋の概要説明などの座学も実施。

現地案内コース

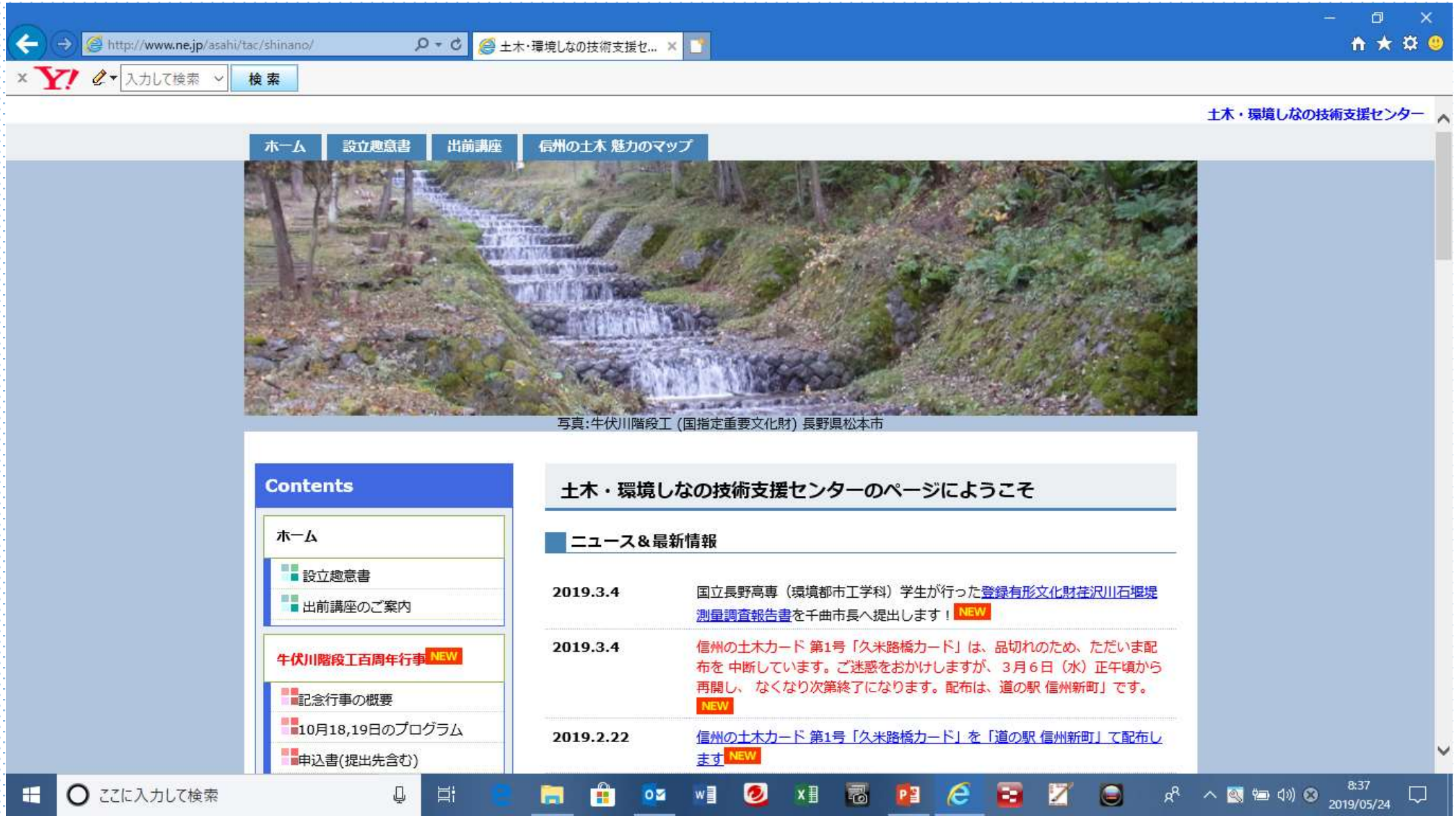
京都大学、大阪大学
神戸大学、大阪市立大学
関西大学、立命館大学
大阪工業大学
摂南大学、明石高専
近畿大学、大阪産業大学
神戸市立高専
に案内

次年度以降　淀川の橋めぐりに加えて

- 湾岸部の長大橋
- 市内中心部の橋梁

などのコースでの開催を検討中

土木・環境しなの技術支援センターとの交流



センター設立の趣旨

近年、社会の諸変化を受けての社会資本整備のありかたは、大きく変化しようとしています。また、平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災をうけ、土木・環境技術とそれに係わる研究者、技術者には社会貢献の役割が一層求められています。そこで、従来の枠組みだけにとらわれず、研究者、技術者それぞれが有する立場をこえ、社会的課題の解決のため、平成24年10月 当センターを設立致しました。当センターでは、土木・環境分野において、次のような活動を考えています。

1.土木・防災・環境研究成果の普及事業（研修講師など）
2.建設技術に関わる技術支援事業（官庁、民間企業、学校の教育、技術研修を支援する）
3.地域が進める自主的なまちづくり活動の支援事業
4.災害調査及び予防に関する研究（民間企業の業務とは重ならない分野）
5.文化財の調査、保存技術に関わる技術支援事業
6.環境調査、環境改善、再生可能エネルギー事業に関わる技術支援事業
7.その他センター設立の目的にそった技術支援事業

会員、役員

長野県内の大学・高専の研究者、民間コンサルタントの技術者、建設企業の技術者、官庁の現役・退職技術者などで構成しています。希望される技術者はどなたでも参加して活動できます。

団体名　土木・環境しなの技術支援センター
役員　　理事長　小西　純一　信州大学名誉教授
　　理事　　１８名（理事長、事務局含む）　会員25名
　　理事（事務局）　山浦　直人

http://www.nagano-nct.ac.jp/eu/dobokuisan/

土木・環境しなの技術支援センター　【信州土木 魅力のマップWEB...

入力して検索　検索

土木遺産リスト

- 鉄道<鉄道遺産>
- 一里塚<近世の道路遺産>
- 公園<都市公園のあゆみ>
- 峠・トンネル<道路遺産>
- 上水道<水道遺産>
- 農業水利<農業土木遺産>
- 発電所<電力遺産>
- 道路橋<橋梁遺産>
- 砂防堰堤<砂防遺産>
- 治水<治水遺産>
- ドローン映像

信州の土木遺産

目次

鉄道<鉄道遺産>　一里塚<近世の道路遺産>　公園<都市公園のあゆみ>
峠・トンネル<道路遺産>　上水道<水道遺産>　農業水利<農業土木遺産>
発電所<電力遺産>　道路橋<橋梁遺産>　砂防堰堤<砂防遺産>
治水<治水遺産>　ドローン映像

ニュース＆最新情報 NEW

2017.4.10　ホームページを開設

信州の土木 魅力のマップ作成事業

- 信州の土木 魅力のマップWEB版
- 1.信州の土木 魅力のマップ完成
- 2.事業概要説明
- 3.マップ入手方法
- パネル展示 信州の土木を発見しよう！2017.2.17-2.24
- パネル展示 信州の土木を発見しよう！2016.11.18-11.25
- 過去のニュース2014.9

ここに入力して検索　8:40 2019/05/24

まとめ
～今後に向けて～

- 今後も現在実施中の活動を中心に、ボランティア組織として可能な範囲で継続する予定
- 小中学校生徒への土木広報を検討中
- また、地盤工学会関西支部、関西道路研究会、インフラメンテナンス国民会議など土木学会以外の学協会との連携を模索していく
- 活動の範囲が「橋」に偏りがみられるので、ボランティア活動に興味がある他分野の技術者の参加を熱望します